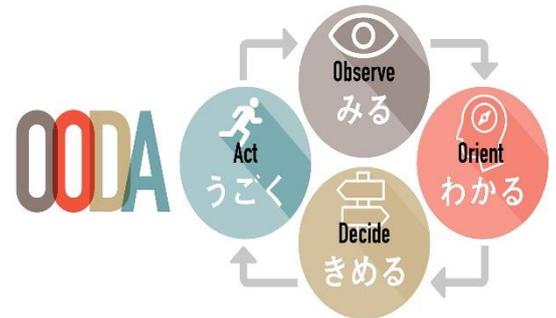


トップガンとOODA

先般の休みの日に、映画「トップガン・マーベリック」を見に行ってきました。前作の「トップガン」は36年前。映画に感動し、ケニー・ロギンスの「デンジャー・ゾーン ~Danger Zone」のCDとレイバンのサングラス（アイスマンVersion）を購入した記憶が甦りました。

映画の中で「Don't think. Just do.（考えるな、行動しろ!）」という言葉が何度も出てきました。「あれこれ考える前に、まずは動いてみる」という言葉に、「そうだよなあ行動だよなあ」と納得している自分がそこにいました。

米空軍のパイロットのジョン・ボイド氏が空中戦における意思決定プロセスとして考案したOODAループという手法があります。最初の「O」はオブザーブ（観察：みる）、次の「O」はオリエント（適応：わかる）、



「D」はディサイド（決定：きめる）、最後の「A」はアクト（行動：うごく）そして最初の「O」に戻るループを指します。従来からあるPDCAは計画から始まるので準備が必要ですし、現場での臨機応変さに欠けるといふデメリットがあります。従来のPDCAサイクルよりもOODAループを高速で繰り返しながら、その都度調整を加えていくことができるようになれば、素早く適切な決断を下す能力が高まり、変化に対して臨機応変な対応が可能になるため、現場の問題解決能力が向上する、という仕掛けになっているのだそうです。

6月の初旬から学校では人材評価面談が行われており、先生方が学習指導・学級経営（生徒指導）・学校運営に分けて、今年度の目標を設定し（計画：プラン）→実践（ドゥー）→評価（チェック）→改善（アクト）→計画→実践・・・とサイクルしながら改善点を見つけて随時修正してくれています。長期目標にはPDCAサイクルを、突発的な（短期的な）生徒（保護者）への対応にはOODAループを併用する事で、この予測が難しい昨今の学校現場を乗り切れるのではと映画を見ながら考えました。

それにしても主演のトムクルーズが59歳とは・・・。私の3つ上なの？相変わらずカッコイイなあ。今回はDVDでも買おうかな？

藤川俊彦（6月27日更新）